



アムリット・ヴァジュラチャリヤ

ネパール・パタン生まれ。17歳から写真スタジオに勤務。ポートレイトの分野で多数の受賞歴をもつ。その後、カトマンズ盆地に住むネワール族の生活文化を精力的に記録するようになる。1999年には日本で東京総合写真専門学校・研究科に課程入学。2005年のコニカミノルタプラザをはじめ、日本各地で個展が開催される。2006年にはネパールで最も有望なカメラマンとして受賞。2008年には姉ソヴァナと『Khokanaに暮らす～カトマンズ盆地 コカナ村の奇跡～』を椋鳥書房から出版。ネパールにおいて”Jaraunhiti-the holy water tank”を出版し、プロ写真家としてだけでなく、民俗写真家としての活動を続けている

写真展

カトマンズ盆地のいまむかし

2017年11月1日[水] - 4日[土]

-ネパール大地震から2年半-

参加費無料

壬生寺、千体仏塔1階礼拝堂

2015年4月25日おきたネパール大震災から2年半がたちました。その間、ネパールの社会情勢やインフラなどに大きな変革がありましたが、震災からの復興はまだその途上にあります。本写真展では、自らも被災した写真家アムリット・ヴァジュラチャリヤさんが10年以上にわたって撮影してきたカトマンズ盆地に住むネワール族の生活文化を、都市と村ごとに震災前から震災時、そしていまの様子を伝えます。



ワークショップ

その時なにかおきたのか

2017年11月4日[土] 13:00-16:00 (予定)

-映像で記録することの諸問題について-

参加費無料

壬生寺、千体仏塔1階礼拝堂

2015年4月25日におきたネパール大震災の写真記録と撮影時の経験について、写真家アムリット・ヴァジュラチャリヤさんから震災時の写真を見ながらお話を伺い、ワークショップ参加者とともに映像記録の経験を共有します。

参加を希望される方は鈴木岳海(suzu@im.ritsume.ac.jp)までご連絡下さい。



壬生寺

〒604-8821

京都府京都市中京区中京区壬生柳ノ宮町31

電話:075-841-3381

●アクセス

阪急大宮駅から徒歩10分ほど

嵐電四条大宮駅からも徒歩10分ほど

